

# 校内研修計画

## 1 学校課題

本校の児童は、全体的に明るく、元気で、素直である。子どもたち同士の仲は大変よく、休み時間や児童会行事では学年の枠を超えて遊び、諸活動においても上級生が下級生の面倒をよくみるなど、全校児童の一体感が見られる。また、少人数学級の特徴を生かし、学習指導では児童一人ひとりに教師の目がよく行き届くことにより、児童の基礎学力向上が図られてきた。一方、児童が相互に切磋琢磨する場面が減少し、幼児期からの友人関係の固定化もあり、ダイナミックな活動が少なくなってきた。児童数減少のため複式学級となったことで、子ども同士の関わりに広がりが出てきてはいるが、自ら主体的に学び、自己判断し決定していく力や表現していく力の育成に課題がある。

## 2 研究主題

「自ら考え、表現し、学び合う児童の育成」  
～思考・表現・対話をつなぐ授業づくりの工夫を通して～

## 3 主題設定の理由

これまで本校が積み上げてきた同期型 CSCL (Computer Supported Collaborative Learning) を使用した協働的な学習の成果を基盤としながら、GIGAスクール構想による「一人一台端末を活用した学習活動」や地域の学習資源が豊富な利点を活用した「ふるさと学習」などを通してアウトプット（表現・伝達）する機会を多く設定することで思考を広げ、深めてきた。

本校では、探究のプロセスを通して、「見通す、実行する、振り返る」といった自己調整スキルを高め、一人ひとりの思考力・判断力・表現力を伸ばし、主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業づくりを行ってきた。昨年度は、ICT を効果的に活用することについて研究し、児童の学習意欲の向上や学び合いの授業づくりについて深めることができた。今年度これまでの研究を活かして、「思考・表現・対話」のつながりを意識した授業づくりを研究していく。自分の考えをもち、表現することができ、対話で学びを深めることができる力を培うことで、一人一人のウェルビーイングの向上を目指していきたい。

また、地域資源を活用した主体的な学びを実践し、それを情報として地域に発信する「ふるさと学習」に引き続き取り組む過程で、児童の思考や表現する力を育成していくことを目指したい。

## 4 研究の具体的内容と方法

### 【研究目標】

「思考→表現→対話→再思考」の流れを意識した授業づくりを実践することで、主体的に学び、表現し、学び合う児童の育成を目指す。

### 【具体的内容】

主題に沿った授業実践として

○課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現を提示する。

- ・見通し・ゴールをつかまえる。
- ・思考・表現・対話の場面を設定する。
- ・クラスルームを活用する。

○語彙を増やす取り組みを行う

- ・スピーチ活動
- ・辞書引きやインターネットでの検索を行う。
- ・読書活動の推進を行う。

○「書く」活動の指導の充実

- ・学んだことや気づきを、自分の言葉でメモしたり端末に打ち込んだりする。
- ・授業で学習感想を書く時間を確保する。  
(わかったこと、友達の意見、もっとしりたいことなど)

○一人一台端末の活用

- ・教材・教具や学習ツールとしてICTを適切(…活動ありきではなく)に活用する。



自ら考え、表現し、学び合う児童が育ったか。

### (1) 授業づくり

①児童の実態把握

- ・Q-Uの分析
- ・全国学力テストの分析

②一人一実践と研究授業の実施

- ・情報の活用を意識した授業の工夫と改善
- ・「思考→表現→対話→再思考」の流れを意識した授業づくり
- ・学校間ネットワークの交流実践の継続

③「ふるさと学習」の取り組み

- ・地域人材の活用
- ・地域との連携と情報発信
- ・「ふるさと学習」の発表会

### (2) 学習基盤づくり(甲州市プロジェクトと関わって)

①Q-U調査の実施(2回)と分析

②互いに認め合い、高めあえる集団づくりを目指した学級活動の取組

③生活環境向上の取組(GIGAワークブックの活用)

## 5 年間研修計画

回数	月	日	内 容	担 当	備考	TC要請
1	4	8	昨年度の成果と課題 研究の方向性	研究主任		
2	4	22	研究主題・研究内容・基本計画の確認 情報（朝活動）・端末活用のルール・家庭 学習について	研究主任		
3	5	27	WEBQU 分析	各学年		
4	6	3	学習会（思考・表現・対話をつなぐ授 業づくりの工夫について）	研究主任		
5	7	1	一人一実践について 学習会（探究的な学びについて）	研究主任		
6	7	8	学習会（思考・表現・対話をつなぐ授業づ くり実践例）	研究主任 各学年担任 他		
7	8	19	教育課程環流報告会	各担当		
8	9	2	特別支援研修 全国学調分析	教頭 T		
9	9	30	個人研究（一人一実践）	各学年		
10	10	7	個人研究（一人一実践）	各学年		
11	10	21	WEBQU 分析	各学年		
12	10	28	探究的な学びについての理論研究	各学年		
13	11	11	探究的な学びとふるさと学習発表会に向 けた研究	各学年		
14	11	18	一人一実践研究会①	各学年		
15	12	2	一人一実践研究会②	各学年		
16	12	9	研究紀要について	研究主任		
17	1	20	研究の成果と課題	研究主任		
18	1	27	ふるさと学習発表会準備	各学年		
19	2	17	一人一実践まとめ	各学年		
20	2	24	紀要原稿作成	各学年		
21	3	3	紀要原稿の確認と校正	全体		